

平成 17 年度卒業生アンケート調査報告

調査の目的と方法

自己点検・評価委員会では平成 18 年 3 月の本学卒業生に対し、在学期間中の（１）学習、（２）学生生活、（３）学園の施設・設備、（４）総合評価のそれぞれについて、卒業式の当日にアンケート調査を行った。その集計結果がまとまったので報告する。

このアンケート調査は、平成 14 年度以来継続している卒業生調査の延長線上にあるものだが、本年は、調査実施日（卒業式当日）における調査時間の制約、集計作業の迅速化、調査結果の鮮明化等を考慮して、アンケートの質問項目を若干整理統合した。ただし時系列上の変化の有無を検証できるよう、前回までの調査項目との接続性についても配慮を行った。

調査の概況は（表 1）のとおりである。

（表 1） 調査対象（卒業生）数、回収数、回収率

学 科	卒業生数	回収数			回収率
		記名	無記名	計	
人間社会学科	104	92	0	92	88%
マス・コミュニケーション学科	135	122	0	122	90%
環境デザイン学科	66	61	0	61	92%
経営社会学科	85	74	0	74	87%
全学合計	390	349	0	349	89.5%

調査結果

アンケート調査は 4 つの側面に分けられた 32 項目の設問で構成され、各質問項目について 5 つの選択肢から 1 つを選んでもらった。選択肢は次のとおりである。

あてはまると思う・そう思う

ややあてはまる・ややそう思う

どちらとも言えない

ややあてはまらない・ややそう思わない

あてはまらない・そう思わない

(表2)に調査の集計結果(全学集計)を示した。選択肢 から までをそれぞれ5ポイントから1ポイントまでの評点に置き換えて算出した各質問項目の回答の平均値を右端の欄に掲載した。(選択肢 = 5ポイント、 = 4、 = 3、 = 2、 = 1)

(表2)平成17年度 卒業生アンケート集計結果(全学集計表)

設 問	選択肢ごとの回答比率 %					回答数	評点平均
1. 学修について							
1 英語の力がついた	3.9	16.5	36.0	20.4	23.2	358	2.6
2 海外研修は有意義だった(参加しなかった人は をつけないで下さい)	65.9	22.2	3.4	1.5	6.9	261	4.4
3 大学から貸与されたパソコンをよく利用した	60.6	25.1	10.1	2.2	2.0	358	4.4
4 ワードやエクセルなどの基本的なソフトを使えるようになった	40.1	35.9	18.2	3.9	2.0	357	4.1
5 大学生活で教養が身についた	24.3	37.9	30.2	5.1	2.5	354	3.8
6 専門分野についての知識が身についた	20.2	32.8	35.0	8.7	3.4	357	3.6
7 卒業後の進路選択のための授業(講座)を増やしてほしいかった	30.4	32.4	27.9	6.1	3.1	358	3.8
8 有料でも良いので資格取得のための講座を開設してほしいかった	28.3	28.6	29.7	7.0	6.4	357	3.7
9 設置科目など、カリキュラムは満足できるものであった	10.6	36.4	43.1	6.4	3.4	357	3.4
10 シラバスを検討して履修科目を選んだ	31.0	30.4	24.8	9.0	4.8	355	3.7
11 履修モデルを参考にして履修科目を選んだ	12.7	20.3	29.3	16.6	21.1	355	2.9
12 図書館をよく利用した	28.0	29.7	23.2	12.9	6.2	357	3.6
13 高校までの勉強が足りなかった	25.8	26.1	33.1	9.0	6.2	357	3.6
2. 学生生活について							
14 在学中は、よく勉強した	8.4	24.0	38.3	19.6	9.8	358	3.0
15 在学中は、部活・クラブ中心の生活だった	13.8	11.5	14.3	16.9	43.5	356	2.4
16 在学中に多くの本(マンガ以外)を読んだ	13.9	20.5	33.0	20.7	11.9	352	3.0
17 大学生活を終えて、自分は成長したと感じた	36.3	35.5	20.6	5.9	1.7	355	4.0
18 就職活動を積極的に行った	27.7	23.5	21.0	15.1	12.6	357	3.4
19 大学通学のための家族の経済的負担は大きかった	40.8	34.0	16.4	4.8	4.0	353	4.0
20 学費をかせぐためのアルバイトが欠かせなかった	20.4	19.0	27.2	14.6	18.8	357	3.1
21 通学時間の長さや混雑が負担だった	17.4	18.8	23.0	15.2	25.6	356	2.9
22 よい友人ができた	68.2	19.3	8.7	2.0	2.0	358	4.5
23 他の学生とのトラブルが多かった	2.5	3.7	11.8	14.1	67.9	355	1.6
24 教員とのトラブルが多かった	0.8	3.4	12.9	14.6	68.3	357	1.5
25 職員とのトラブルが多かった	1.4	3.6	11.5	12.8	70.7	358	1.5
26 江戸川大学の学生のマナーは良いほうである	7.3	10.9	37.3	26.6	17.9	357	2.6
3. 施設・設備について							
27 教室などの教育関連施設に満足できた	14.0	26.0	40.2	12.3	7.5	358	3.3
28 図書館に満足できた	27.4	34.9	27.9	6.7	3.1	358	3.8
29 Web環境に満足できた	34.2	32.5	24.6	5.6	3.1	357	3.9
30 体育関連施設に満足できた	5.0	11.5	40.1	21.8	21.6	357	2.6
31 食堂に満足できた	8.9	17.3	27.4	24.9	21.5	358	2.7
4. 総合評価							
32 江戸川大学に入学してよかった	40.6	38.1	16.5	2.8	2.0	352	4.1

調査結果の要点

アンケート調査の集計結果から、次のような特徴を指摘することができると思われる。

1. 「学習について」の設問に対する回答

- ・大学から貸与されたパソコンの活用やその基本的ソフトの習熟について良い評価をする回答が多い。
- ・海外研修（参加者のみの回答）が有意義であったとする回答が多い。
- ・英語の力がついたかどうかを問う設問に否定的な回答が多い。
- ・履修科目の選択に際し履修モデルをあまり参考にしなかったとする回答が比較的多い。

2. 「学生生活について」の設問に対する回答

- ・よい友人ができたと思うかとの設問に肯定的な回答が多い。
- ・他の学生や教職員とのトラブルについては少なかったとする回答が多い（多かったとする回答が少ない）。
- ・大学生活を通じて「自分は成長した」と感じている学生が比較的多い。
- ・家族の経済的負担が大きかったとする回答がかなりある。
- ・在学中によく勉強したと思うかとの設問には肯定的な回答がやや少ないが、部活やクラブ活動中心の生活だったかという問いにも肯定的回答は少ない。
- ・江戸川大学生のマナーについて批判的な意見が多いことがうかがえる。

3. 「施設・設備について」の設問に対する回答

- ・全体的に施設・設備についての満足度は高くない。
- ・体育施設と食堂についての不満がかなり多い。

4. 「総合評価」の設問に対する回答

- ・設問は「江戸川大学に入学してよかったと思うか」の1問であり、「そう思う」と「ややそう思う」という回答の合計が全体の78.7%となっている。

時系列比較（参考データ）

時系列的な変化の有無を知るための参考データとして、前回までの調査とほぼ同趣旨の質問項目について、選択肢「あてはまる・そう思う」と、「ややあてはまる・ややそう思う」と回答した者の合計比率（同意率）を経年的に比較した（表3）。

冒頭にも触れたとおり今回の調査から質問項目を若干整理したため、厳密な意味での時系列比較ではないが、「学習」に関しても「学生生活」に関しても、多くの項目についてポジティブな評価が増えている。総合評価（「江戸川大学に入学してよかった」）については16年度の落ち込みを回復しただけでなく、その前年の15年度を12ポイント近く上回る過去最高の

評価（同意率 78.8%）となった。

（表 3）卒業生アンケートの経年的変化（設問への同意率の時系列比較）

設 問	回答 + の比率			
	14年度	15年度	16年度	17年度
1. 学修について				
1 英語の力がついた	18.8	14.5	20.2	20.4
2 海外研修は有意義だった(参加しなかった人は をつけないで下さい)	68.6	64.7	56.4	88.1
3 大学から貸与されたパソコンをよく利用した	-	-	-	85.8
4 ワードやエクセルなどの基本的なソフトを使えるようになった	-	-	-	75.9
5 大学生活で教養が身についた	54.5	59.0	56.0	62.1
6 専門分野についての知識が身についた	38.8	44.4	43.1	52.9
7 卒業後の進路選択のための授業(講座)を増やしてほしいかった	-	-	-	62.8
8 有料でも良いので資格取得のための講座を開設してほしいかった	-	-	-	56.9
9 設置科目など、カリキュラムは満足できるものであった	-	-	29.6	47.1
10 シラバスを検討して履修科目を選んだ	52.5	42.3	28.8	61.4
11 履修モデルを参考にして履修科目を選んだ	16.0	24.6	24.1	33.0
12 図書館をよく利用した	55.1	52.3	49.0	57.7
13 高校までの勉強が足りなかった	41.6	43.9	41.6	51.8
2. 学生生活について				
14 在学中は、よく勉強した	38.1	25.2	36.4	32.4
15 在学中は、部活・クラブ中心の生活だった	23.3	28.9	28.3	25.3
16 在学中に多くの本(マンガ以外)を読んだ	-	-	-	34.4
17 大学生活を終えて、自分は成長したと感じた	62.2	69.1	63.3	71.8
18 就職活動を積極的に行った	-	-	-	51.3
19 大学通学のための家族の経済的負担は大きかった	60.8	58.4	58.0	74.8
20 学費をかせぐためのアルバイトが欠かせなかった	-	21.3	22.1	39.5
21 通学時間の長さや混雑が負担だった	35.3	32.9	29.7	36.2
22 よい友人ができた	83.7	88.3	80.8	87.4
23 他の学生とのトラブルが多かった	9.6	9.6	9.7	6.2
24 教員とのトラブルが多かった	10.5	7.8	8.9	4.2
25 職員とのトラブルが多かった	9.4	9.8	8.6	5.0
26 江戸川大学の学生のマナーは良いほうである	-	-	-	18.2
3. 施設・設備について				
27 教室などの教育関連施設に満足できた	-	-	24.2	39.9
28 図書館に満足できた	-	-	37.4	62.3
29 Web環境に満足できた	-	-	34.2	66.7
30 体育関連施設に満足できた	-	-	28.7	16.5
31 食堂に満足できた	-	-	39.9	26.3
4. 総合評価				
32 江戸川大学に入学してよかった	59.8	66.9	60.3	78.7

注 「-」は該当なし